

10 月度木曜例会（2022 年 10 月 6 日） 於：福祉文化会館

## Welcome to Mongolia

### The land of eternal **blue skies**

### and endless great **steppers**

ジャルガルサイハン ガンチメグ  
Jargalsaikhan Ganchimegさん（モンゴル）

ユーラシア大陸の東西に 13 世紀から世界史上最大の領土の大帝国を築いた



その国から来た親日家の女性 Jargalsaikhan Ganchimeg さん。通称ガナさんです。大草原と高原の中でモンゴルの人たちが培ったユニークな遊牧文化、その特徴や生活習慣について話していただきました。多数のスライドを使った盛りだくさんの内容でした。以下は要約です。

ガナさんは立命館大学院生。  
Policy Science を専攻。second  
master degree を取得予定。  
茨木市在住

モンゴルの歴史と日本との関わり  
ジンギスカンの孫、クビライカンは 1266 年、2 度にわたり日本国王宛に国書を送ったが日本側は返事を返さなかった。そこで、モンゴル軍は 1274 年と 1281 年、2 度にわたり日本を襲った。



モンゴル軍の襲撃に立ち向かう日本の侍（右側）（蒙古襲来絵詞より）



最盛期のモンゴル帝国

ジンギスカン（1162～1227）は1206年、モンゴル平原の遊牧民の部族を束ねて、中央アジアと中国を支配した。彼の後継者たちは、さらに領土を広げ、ポーランド、シリア、ベトナム、朝鮮に侵攻、1100～1200万平方マイルに及ぶ大帝国を作った。この侵略で多くの人々が虐殺されたが、彼は従うものには信仰の自由を与え、拷問を廃止、交易を奨励し、最初の国際的郵便制度を創った。

を奨励し、最初の国際的郵便制度を創った。

### 地理的特徴

モンゴルは大部分が高原で、平均海拔は1580㍎。最高峰はアルタイ山脈の中にあり4356㍎。3776㍎の富士山より高い。

### 遊牧生活

モンゴル人は、自然環境に調和して生きる、という考えに基づいて遊牧生活を送ってきた。互いに挨拶を大切にし、敬意を払い、伝説を語り、叙事詩を歌う。

### 遊牧民の宗教 Tengrism



ジンギスカンが定期的に祈っていた  
ブルハン・ハルドウン山

テングリは蒙古族の至上神であり、同時に天を意味する。そのテングリの命によって蒼き狼（Borte Chono）であるモンゴル族の祖先が生まれ、その9代目がジンギスカンとされる。相撲取りの白鳳の着物にはこの狼をあしらったものがある。宗教はシャーマニズムに基づいており宇宙との調和の中に生きる。

一方、中国人は自分たちを天の龍の子孫と考えている。

### 7つの神の星

モンゴルの宇宙システムは主に太陽、月、5つの星が基本。大熊座を特別視しており、清浄の象徴とされる白い乳をこの星座の方向に投げかける。ヤギ年とヘビ年は崇拝されている。

## ミルクをまく儀式



古くからモンゴル人は大地の主の乳を与え、好天と安全と幸福を祈った。モンゴル帝国時代は、女性たちが戦士である息子が無事に帰還することを願ってこの儀式を行った＝左図。また、オイラート族はアルタイ山の神に、四方八方に神聖なミルクをまいて、寛容と恩恵と慈悲を願った。

## モンゴルの放牧

### Nomadic Grazing in Mongolia:

Herders in the Gobi region move to rotate their grazing lands seasonally so that they can feed their livestock sufficiently. When grass is in short supply because of drought, they even make long-distance journeys (Otor) of hundreds of kilometers in search of grass. They have a recognized claim to ownership of the land they have customarily used for winter, which is located on the leeward side of mountain for protection from the winds. Shelters are built there to protect animals from the cold and fuel for daily use is stored.



ゴビ砂漠の遊牧民たちは家畜たちに草を十分、食べさせるために、季節ごとに放牧地を周回した。草が少ない時は数百キロもの長い旅をすることもあった。ここでは、動物たちを寒さから守るための小屋が立てられ、燃料も蓄えられていた。

## モンゴル語の文章構造

モンゴル語は日本語と似た発音で、語順が似たところもあり、モンゴル人には日本語習得は難しくない、という。

## モンゴルの伝統的スポーツ

モンゴルでは昔からレスリング、弓、騎馬が男の3大スポーツだった。ジンギスカンはモンゴル軍の強さ





を維持するにはレスリングが重要と考えた。レスリングはモンゴル語で Bokh と言い、強さと生命力を表す。日本の相撲界で活躍した白鵬、朝青龍、日馬富士らはモンゴル相撲の伝統を引き継いだ人たちである。

### 伝統的な衣装

伝統的なモンゴルの衣装は Deel で、モンゴルの大地と生活スタイルに深くかかわっている。幅が広くカップ状の袖（ひずめ、と呼ばれる）がついており、寒さやハードな仕事によるけがを防ぐという優れた特徴を持っている。



### 古都カラコルム



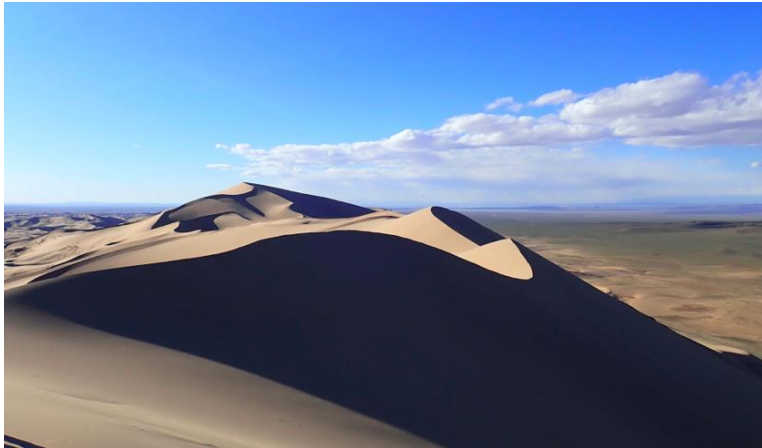
The Silver Tree of Karakorum. 18th-century Dutch imagination. 

カラコルムは大モンゴル帝国の古い首都であり 1220 年、オルホン河の渓谷に建設された。クビライカーン（ジンギスカンの孫）が元朝を開き、北京を首都にするまで都だった。この地のエルデネゾー寺院はジンギスカンの子孫、アブタイサインカーンによって 1586 年に建設された。108 ものスツーパー（仏塔）があり、美し

い白壁に囲まれている。

### ゴビ砂漠

世界で最も大きな砂漠の 1 つで、蒙古の領土の 3 分の 1 を占める。



世界のほかの砂漠と違って、砂漠の中に山脈、森、湖、沼地があり命で満ちている。湿度が非常に低く、気温は昼間50度、夜には零度に下がる。年間雨量は100ミリしかない。この砂漠の中で最も高い砂丘はコンゴール砂丘で92.5平方

キロもある。

### 燃える崖



「燃える崖」はゴビ砂漠の中で多分、最も有名なところ。赤とオレンジ色の砂岩の崖で、特に夕日が沈むころは燃えるような赤に染まることから、この名がつけられた。

ここで1920年代、重要な恐竜の卵の化石が初めて発見された。他にも肉食恐竜や真獣類の化石も

も見つかっている。ここでは勝手に化石を取ることは違法になっている。

### モンゴルのラクダはふたこぶ

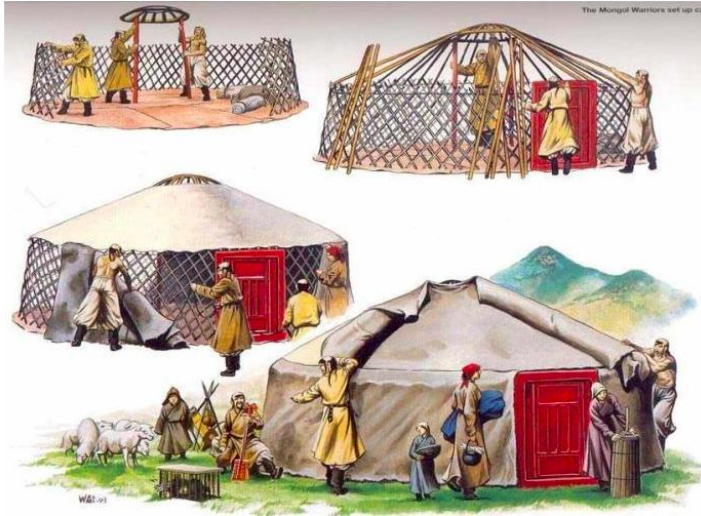
モンゴルのラクダはバクトリアと呼ばれるふたこぶラクダで、中央アジアの草原に昔からいた。

モンゴルの遊牧民にとっては重要な5つの家畜の1つ。車が登場するまで、昔から人々の移動や日々の生活に重要な役割を果たしてきた。

それだけではなく、人々にミルク、毛織物、時には肉として役に立った。



## モンゴルのゲル



ゲルは中央アジアの草原地帯で住居として使われている。移動式で分解して持ち運び、組み立てやすく工夫されている。伝統的なゲルは皮やフェルトで覆われ丸屋根で、骨組み、格子、ドア枠などの集合体。屋根の骨組みなどは引き寄せる力で倒れないよう工夫されている。

## キャラバンの移動はフタコブラクダで

遊牧のためには自然のサイクルを良く知り、動物たちのニーズを満足させる牧草地を選ばなければならない。移動にはふたこぶラクダが使われる。モンゴルはこの急速に失われつつある遊牧民の移動方法を見ることが出来る最期の地になるかもしれない。

## その他

このほか、日本で人気のカルピスは 1904 年、三島海雲という日本人がモンゴルを旅行中に会った酸乳をもとに乳酸菌飲料を創りだしたものの、という話も。東方見聞録で有名なマルコポーロ（中世、欧州・アジアを旅行し、モンゴルの元王朝でも働いた）の短い映画なども上映された。

以上